



神私幼

平成23年9月1日
第177号

(昭和29年7月10日創刊)

発行：(社)神奈川県私立幼稚園連合会
発行人：会長 渡邊 眞一
編集人：神私幼総務部(広報室)
発行：年4回(6月・9月・12月・3月)
発行部数：1700部

<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL. 045 (440) 3210 FAX. 045 (440) 3209



INDEX

- 2 会長のことば **県連合会が取り組む大きな仕事** ●神奈川県私立幼稚園連合会 会長 渡邊 眞一
- 3 **魅力あふれるマグネット幼稚園に期待** ●神奈川県知事 黒岩 祐治
- 4/5 研究部 **心が響き合う幼稚園教育を**
教員免許状更新講習会を終えて
 ●研究部 研究室長 岩本 勉
新規採用教員研修会(第4回)を終えて
 ●研究部次長 高 方子
 特別研究委員会A部会
 幼児理解『語りあい 支えあい 高めあう保育』
 文部科学省委託事業「幼稚園教育理解推進事業」
 平成23年度 幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会
 地区協会の研究活動茅ヶ崎市私立幼稚園協会
- 6 平成24年度 **予算要望について** ●振興部長 山田 誠一
- 7 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会
会長就任のご挨拶 ●父母の会連合会 会長 佐野 早紀
 教育相談室から
皆さんみんな知っています/教育相談事業要項
 ●教育相談員 鈴木 敦子
- 8 **研修会報告/県父母の会連合会委員総会開催報告/**
新規加盟園情報

会長のことば

県連合会が取り組む 大きな仕事



県連合会 会長
渡邊 眞一

今まで体験したことがない節電の夏が私たちの暮しを変えました。クーラーから扇風機へ、そして団扇、扇子が復活し、暑さ対策にゴーヤ、アサガオなどの活用が話題になるなど省エネ対策の今夏でした。

二学期が始まりましたが当分の間、残暑が厳しいとのこと、運動会、遠足と諸行事の多い時、健康管理には十分気を配りたいものです。

さて今期も残り七ヶ月となりました。当面、連合会が取り組まねばならない大きな仕事があります。

① 公益法人化への取り組み

現在、公益法人制度改革検討委員会において座長・小澤副会長を中心に詰めの段階に入りました。当初は一般社団を指そうと検討を進めていました。しかし時間が経つにつれて国や県当局の方針がゆるやかな内容へと変わって

② 県連組織の見直し

公益法人法の改革に伴ない県連組織を見直したく、総務部が中心となり今その検討作業を進めているところです。見直しのコンセプトは各協会をベースとして成り立つ現在の組織を引き継ぎ、主な役員の選出方法も現在の方法と大きく変わることなく、円滑な会務運営がとれることを願うての改革です。

平成二十四年三月五日の総会にて新組織は公益社団とする旨の提案をさせて頂いた後、同年四月以降に公益社団への手続きを開始したいと考えます。

③ そのほか

平成二十四年度は関東地区教員研修神奈川大会があります。平成二十四年八月二日～三日、パシフィコ横浜他を使用し、第二十七回大会を当連合会が実施団体となつて開催します。前大会

きたことから、公益社団になることが可能になりつつあります。県連の今の組織（しくみ）が生かされる状況であるなら、公益社団になることが県連の将来にとりプラスであると考えます。

（第十九回）の記録を参考に神奈川らしい大会にしようという研究部を中心に各部をあげて、大会準備を進めているところです。くわしいことは追って各協会を通してお伝えすることとなります。

にとつて大事な活動の一つです。

子ども・子育て新システム検討会議の動向ですが、政府は三つのワーキングチームで論議された内容を子ども・

県内からは二千人余の参加を期待するところです。各園におかれましては来年度の行事予定に平成二十四年八月二日～三日をご記入願います。

経常費補助金の動向が気になります。黒岩知事にかかりましたが、今だ新知事の私学経営に対する考え方が伝わってきません。とにかく平成二十三年度は他校種に比べて小規模経営体の私立幼稚園にとつて大変に厳しい補助金の内容でした。連合会では七月八月にかけて各政党へ平成二十四年度の予算要望を正副会長を中心に幼教振、退職財団と連携をとりながら、精力的にこなしました。そして八月四日（土）には

県民局長へ直接予算要望書を手渡し、要望内容について縷々説明をいたしました。県財政が厳しくとも教育の質は落せない！との局長の力強いご挨拶に期待するところです。今後は県内各地区にて県議会議員の先生方へ私幼の声を直接伝えてほしいと強くお願いいたします。設置者・園長先生方の要望が県連

子ども・子育て新システム検討会議の動向ですが、政府は三つのワーキングチームで論議された内容を子ども・

魅力あふれるマグネット幼稚園に期待

（社）神奈川県私立幼稚園連合会におかれましては、本県の幼稚園行政の推進に日ごろからお力添えをいただき、誠にありがとうございます。

また、さまざまな研修会を開催され、神奈川の幼稚園における高い教育水準の維持にご尽力いただいております。誠にありがとうございます。

さらに、東日本大震災に際しては、多くの浄財を被災地に贈られるとともに、九十名もの避難園児を受け入れていらつしやるとお聞きし、頭の下がる思いがいたします。

また、さまざまな研修会を開催され、神奈川の幼稚園における高い教育水準の維持にご尽力いただいております。誠にありがとうございます。

今改めて神奈川は日本の縮図だと実感しています。横浜や川崎のような大都市もあれば、田園地帯もあり、世界有数の温泉地や観光地もありま

す。そして丹沢・箱根の山並みもあれば、湘南の美しい海岸線もありま

す。さらに自衛隊や米軍の基地までもあります。

神奈川が元氣になれば、日本は元氣になる。私はそう確信しています。それだけやりがいがあると感じると同時に、責任の重さを

痛感し、身の引き締まる思いです。現在もこの思いを胸に、日々の公務にまい進しているところ

です。震災によって、現在、わが国はまさに困難といえる状況にあります



神奈川県知事
黒岩 祐治

くろいわ ゆうじ プロフィール

昭和29年9月26日生まれ 兵庫県神戸市出身
昭和55年3月 早稲田大学政経学部卒業
昭和55年4月 (株)フジテレビジョン入社
平成21年9月 同退社
平成21年10月 国際医療福祉大学大学院教授
平成23年3月 同退職
平成23年4月 神奈川県知事に就任

復興に向けて、さらに日本再生のために、神奈川が大きな力となるよう、皆様と一緒に「県民総力戦」を展開していこうと考えております。

さて、神奈川県には私立幼稚園が六七二園ありますが、神奈川県内の全幼稚園の九パーセント以上が私立幼稚園であることから、神奈川県の幼稚園教育は私立幼稚園が支えていると言っても過言ではありません。

そこで県では、運営費への補助を実施するとともに、平成二十三年度には、私立幼稚園の教育・保育環境の向上を図るため、耐震補強などの施設改修や遊具・学習設備の設置改修などに係る費用に対して支援を行うこととしました。また、預かり保育事業に関連する施設や、認定こども園等への円滑な移行を図るための設備等の整備に対して

も支援を行ってまいります。幼稚園は、子どもたちの発達段階における、初めての集団生活の場であり、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期を担っています。

また、幼稚園関係の皆様が長年取り組んでこられた、子育て相談や地域と

のふれあい交流といった地域に根ざした教育活動は、地域の子育て支援における中核的な役割を果たしており、保護者や地域の方々からの大きな期待が寄せられています。

こうした皆様の活動によって、子どもたちにとつても、また、子どもたちを育む地域の方々にとつても、幼稚園が、人を引き付ける場所、人が集う大切な存在となつていくことに、改めて思い至ります。

私は「いのち輝くマグネット神奈川」を旗印に掲げて、神奈川の活力を呼び起こし、「神奈川モデル」を創造して、全国にその存在感を示していきたいと考えています。

私立幼稚園連合会の皆様におかれましては、マグネットのように人を引き付ける個性と魅力あふれる幼稚園、いわば「マグネット幼稚園」の実現を通じて、神奈川の次代を担う子どもたちがいきいきと健やかに育ち、いのちを輝かせることができるよう、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、幼稚園関係の皆様が長年取り組んでこられた、子育て相談や地域と

研究部 心が響き合う 幼稚園教育を

新しい世界にあこがれ、燃えて学んでいる人は、魅力を放っている。その人の「あこがれ力」に触発された人は、自分も学びたくなる。教育の基本は、学び合い、刺激し合う友情関係だ。齋藤 孝著『教育力』より

幼稚園は、子どもも大人もあこがれ合う人びとが集い、刺激し合い、尊敬し合う、正に心が響き合う教育の場です。

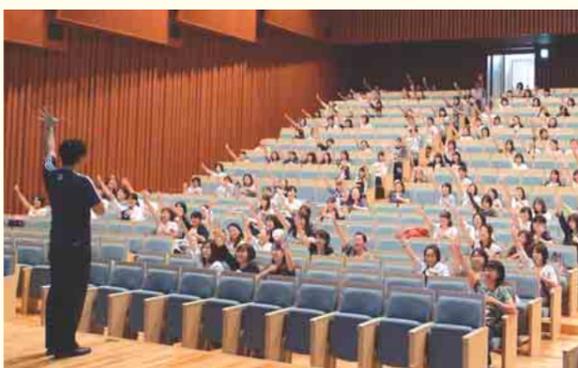
研究部長 電ヶ谷忠宏



教員免許状更新講習会を終えて

研究部 研究室長 岩本 勉

八月一・二日、鶴見大学において教員免許状更新講習（必修領域）を実施したところ、約一八〇名の参加を得ることができました。年々、受講希望者は増加しています。教員免許状更新制度が定着してきたこと、幼稚園教諭対象の講習会が少ないこと、県連と鶴見大学が連携して五日間で三十時間の講習が履修できること、これらが受講者増加の背景としてあります。



教員免許状更新制度について様々な議論があります。しかしながら、一日六時間の講義に、評価（テスト）というタフなスケジュールにもかかわらず、参加された先生方はとても意欲的に受講されています。県連では更新対象となる先生方が安心して受講できる体制作りを努めてきましたが、今後、すべての参加希望者が受講できる新たな仕組みづくりが必要になってきました。

そこで、今年度は十一月二十六日（土）、相模女子大学のご協力を得て、選択領域（六時間）の講習会を新たに企画いたしました。多くの先生方のご参加をお待ちしています。



さて、免許状更新講習（三十時間）を修了された先生方は、県へ修了確認申請の申請が必要となります。すでに各園には県から文書が届いていますので、ご確認ください。県のホームページからもダウンロードできます。

特別研究委員会A部会

幼児理解「語りあい 支えあい 高めあう保育」

永保 貴章 (田名幼稚園)

A部会は月一回のペースで年間八回、継続研究を行っています。

今年度の目標は、「保育の再発見」と「あすの保育へのフィードバック」。持ち寄られた保育事例の映像資料等について意見を交わします。ただ話し合っただけで終わるのではなく、実践により深くフィードバックするために、一度検討した事例について数カ月後に改めて検討しあうようにもしています。そこでは、あとも一つの幼稚園の職員会議であるかのように参加者同士が胸襟を開き話しあえる「ミニ職員会議」の雰囲気作りも大切にしています。



一〇分程度の映像からスタートした話し合いが白熱し、三時間の研究時間内では収まらないこともしばしば。さらに、講師・佐藤康富先生（鎌倉女子大学教授）が、ありふれた保育の情景の中に幼児の成長の証と保育の意味を見出してくださるため、さらに深い理解と自信につながっています。毎回が充実しているため、いずれ成果を発表することができるよう、資料を集積して発表方法を検討しているところでもあります。

新規採用教員研修会(第四回)を終えて

研究部次長 高 方子

八月一・二日に鶴見大学において第四回（私学単独）の研修会が行われました。

- *「指導計画作成について―幼児にとつての環境―」 岡 健先生（大妻女子大学教授）
- *「保育者の役割―新人に求められるもの―」 平山許江先生（文京学院大学教授）
- *「幼稚園にもつと体操を」 三宅良輔先生（日本体育大学准教授）
- *実技指導
 - ・「造形」照沼晃子先生（関東学院大学准教授）
 - ・「絵本」内藤知美先生（東京都市大学教授）
 - ・「自然」 佐藤英文先生（鶴見大学短期大学准教授）

「体を動かす遊び」 有木昭久先生（日本児童遊戯研究所所長）



言葉や行動から子どもの思いを汲み取ったり、子どもに寄り添うことの大切さ、そして教師自身の創造性や感性を生かした保育や指導計画作成など講義や演習を通して学びました。自分自身の保育や園の子どもの姿を思い浮かべながら受講し、二学期からの保育に意欲を膨らませようです。

この研修会には、横浜市・川崎市・相模原市を除く約一五〇名が参加しました。この二日間の研修を通して互いに交流を深めながら同じ立場や同じ思いを共有できる仲間意識を深める機会にもなったようです。

平成二十三年度 幼稚園教育課程等 神奈川県研究協議会

江津 秀子 (八幡橋幼稚園)

七月二十一日（木）二十三日（金）かながわ県民センター

幼稚園の教育課程編成及び実施に伴う諸課題並びに幼稚園を取り巻く諸課題について研究協議し、教職員の指導力を高め、幼稚園教育の振興、充実を図ることを目的とした研究協議会でありました。

「よりよい園作りに向けた学校評価―地域に広がる支援の輪―」東京芸芸大学准教授 福元真由美先生、「心も体も健康な子どもを育てる」遊び、生活・食を通して「聖心女子大学教授、河邊貴子氏による全大会での講演、それを受けて三分科会に分かれて発表、グループ協議が行われました。

分科会、①健康な心と体を育て、幼児が進んで食べようとする気持ちをもつための環境の構成と教師の働きかきについて、②特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた計画的、組織的な指導の在り方について、③幼稚園における学校評価について、県内の公、私立幼稚園の保育従事者が共に課題に向け学ぶ場をもつことができたことは、何よりの収穫であったと思えます。次年度に向けより多くの方々の参加を期待します。



地区協会の研究活動

茅ヶ崎市私立幼稚園協会

研究部長(地区研修担当) 豊島ときわ(ひかりの子幼稚園園長)

子どもの心を育む人的環境としての 保育者のあり方とは

当協会の平成二十三年度の研究テーマは「心を育てる」で、目標として二本の柱を立てています。一つ目は「気になる子への理解を深め、実践につなげる」二つ目は「絵本を通して子どもの心の育ちを大切に考える」です。

研究研修活動は年間五〜六回の研修と夏期研修大会があり、加盟園の熱心な参加が見られます。

一つ目の「気になる子」の研修は昨年度よりの継続研修で、年間を通し幸福先生をお招きして特別支援教育を学びます。各園より、子どもの気になる行動・様子・対応等、事例を持ち寄ることで活発な話し合いとなり、理解を深める良い研修となっています。様々な場面で適切な対応を求められる中で、子どもの心に寄り添いながら支援できるような保育者の資質の向上を目指しています。

二つ目の「絵本」の研修は、子どもたちが優れた絵本に出会うことは、心を豊かに育む大切な要素となると考え、保育者自身が絵本との出会いを大切にし、子どもへの橋渡しができるよう学んでいきます。

原点は「子どもの育ちに大切な事は何か」を追求することだと思えます。子どもとの関わりの中での課題を持ち寄り、共に考察し、学びと反省を生かした保育を実践していくことが私たちの務めと考えます。



長い夏休みが終わり、それぞれが楽しい思い出を抱え、元気に幼稚園に帰ってきました。幼稚園の先生におかれましては、遠足や運動会などの秋の行事の準備でお忙しい事と存じます。

本年度、神奈川県私立幼稚園父母の会連合会会長をつとめさせていただくことになりました。

当初、思いがけない重責に戸惑いましたが、先生方をはじめ事務の方々や日頃お話しする機会のない他園のお母様方に接することができ、今はその出会いに感謝しております。

これまで父母の会が培ってきた実績を生かしますよう、他の役員の皆様と一緒に努力していきたいと思っておりますので、よろしく願います。

現在、情報化社会、少子化など子どもたちの育つ環境がめまぐるしく大きく変化しています。物が豊かにあふれ、様々なことが便利になる反面、人と人とのつながりやコミュニケーションが希薄化してしまっているのが現状です。そんな複雑な環境の中で、子どもたちが他者を思いやる優しい心を育み、心身共に健やかに成長を導いていけるように親として責任を持ち、子育て支援活動に積極的に取り組んでいく必要があると考えます。

神奈川県私立幼稚園
父母の会連合会

会長就任の
ご挨拶



父母の会連合会 会長 佐野 早紀

今後、情報化社会、少子化など子どもたちの育つ環境がめまぐるしく大きく変化しています。物が豊かにあふれ、様々なことが便利になる反面、人と人とのつながりやコミュニケーションが希薄化してしまっているのが現状です。そんな複雑な環境の中で、子どもたちが他者を思いやる優しい心を育み、心身共に健やかに成長を導いていけるように親として責任を持ち、子育て支援活動に積極的に取り組んでいく必要があると考えます。



振興部長 山田 誠一

平成24年度
予算要望について

子ども・子育て新システム検討会議作業グループの基本制度ワーキングチームは、平成23年7月6日「子ども・子育て新システムに関する中間とりまとめについて（案）」をまとめました。詳細については下記ホームページをご覧ください。

http://www8.cao.go.jp/shoushi/10motto/08kosodate/wg/kihon/k_14/index.html



武山県民局長に要望書を提出

この「中間のまとめ」が、次期国会を通過するとすると制度が全く異なるものとなり、来年度の要望書は余り意味のないものになってしまう可能性もあるなかの24年度予算要望となりました。

毎年、夏休みに入る頃から各政党のヒアリングが始まり、遅いときは9月の初旬まで続きますが、今年度は8月初旬で全てが終わりました。各政党と神奈川県県民部に対するヒアリングは、正副会長、振興部、総務部、退職基金財団正副理事長の出席のもと、下記日程で行われました。24年度要望書の中で特に強調したことは、経常費補助金（一般補助）の増額と、新規事業として黒岩知事が掲げている太陽光発電のパイロット事業に幼稚園を取り上げてもらうことでした。

月日	要 望 先
7月19日(火)	自由民主党神奈川県支部連合会
7月25日(月)	民主・かながわクラブ神奈川県議会議員団
7月25日(月)	県政会神奈川県議会議員団
7月28日(木)	公明党神奈川県議団
8月1日(月)	民主党県支部連合会
8月4日(木)	神奈川県県民局長

以下、要望書の内容を抜粋します。

1. 経常費補助金（一般）の充実

私立幼稚園運営の根幹である標記補助金は、「私立学校経常費補助金交付要綱」（趣旨）にあるように教育条件の維持向上、就学上の経済的負担軽減を図る事に主眼をおいています。その実現のため、標準的運営費方式による標記補助金の更なる充実を要望します。

2. 経常費補助金（特別補助）の充実

- * 預かり保育補助金の増額
- * 地域開放事業補助金（学校法人立園のみ対象）の増額と補助対象園数の増

3. 特別支援教育費補助金の充実

幼稚園の統合保育の目的は、障がいを持つ幼児と健常児がお互いに育ち合う中で、人としての「生きる力」を育むことにあります。県下の幼稚園の一園でも多くの園が、一人でも多くの障がい幼児を受け入れられるように補助金の増額及び対象園児数の増をお願いいたします。

4. かながわようちえん会館における教育相談事業

神奈川県私立幼稚園連合会は、平成21年12月ベイサイドエリアに「かながわようちえん会館」を設置しました。そして、当会館は県下私立幼稚園の資質向上を計る事業と共に、「幼児教育センター」を設置してより公益性の高い事業を展開し始めております。

つきましては、「幼児教育センター」で実施いたします公益性の高い事業に対しまして継続的なご支援をいただきたくお願いいたします。現在は、「ふるさと基金事業」の一環として、私立幼稚園に係る教育相談員を配置し、教育相談への対応及び関係機関との連携調整として実施させていただいています。

5. 太陽光発電のパイロット事業として

陸屋根の建物が比較的多い幼稚園は、太陽光パネルの設置もしやすくまた、幼児期から自然の大切さや命の大切さを教育する機会として、太陽光発電はまさに一石二鳥の設備となります。

設置には、多額の資金を必要とすることから公的補助に加えて、1年数園ずつでもパイロット事業として取り組むことができますようご検討いただきたいと思います。

平成23年度父母連常任委員名簿

会 長	佐野 早紀	ルンビニ(横 浜)
副会長	平賀 彩子	南若宮(横 浜)
副会長	山田 智加子	杉 之 子(横 浜)
庶 務	長 島 裕美子	あけの星(逗 葉)
庶 務	山 本 千夏	聖 鳩(茅ヶ崎)
会 計	伊 藤 玲子	小松原(相 和)
委 員	石 毛 葉子	小田双葉(川 崎)
委 員	小 竹 靖子	福 音(川 崎)
監 事	志 謙 好子	もえぎ野(横 浜)

平成23年度父母の会連合会研修大会

日時：11月9日(水)9:30開場 10:00開会
会場：パンフィコ横浜・会議センターメインホール
講師：乙武 洋匡 氏

教育相談事業要項

実施曜日 毎週 月・金曜日 10:00~12:00及び14:00~16:00
火・木曜日 14:00~16:00
※原則、火曜日は「ようちえん会館」にて電話、面談による相談日とする。

形 態 教育相談に係わる講演、幼稚園への出張相談、電話又は、電話予約による面談。

相談費用 無料（出張相談にともなう実費は相談依頼者負担とする。）

相談の申し込み
電話にて(社)神奈川県私立幼稚園連合会事務局へ申し込みください。
TEL 045-440-3210

教育相談員 鈴木 敦子 先生
東京大学大学院教育学研究科学校教育学専攻修士
教育学修士・臨床発達心理士
桐朋学園大学、千葉大学、日本女子大学
東京都市大学、関東学院大学にて非常勤講師
早稲田、東戸山、西富山幼稚園にて保育アドバイザー

双子の相談を受けたと娘に言う「双子なんて知らないくせに（よくやるよ、フンと顔が物語っています）」と言われてしまいました。スノーピー顔でタラコ唇の娘（顎がとがり、唇が増殖している妄想にとらわれていきます。本人以外は普通の人間顔と認識できます）ひとりしか育てたことがないです。しかし、おおかたの相談者は自分で困っていることの原因とその対処法をすでに自分で知っています。話を伺っていると「わかっている実感」が随所に現れます。ただ不思議なことに原因と対処法は話をしたその瞬間に生まれます。それでも本人が気づいていないのでこちらが話を繰り返したり、テンポをゆっくりにします。するとあっ、そういうことねと相談者自身も理解し、納得がゆきます。

私の仕事はつまり、意識することなく話した内容を本人に改めて自覚してもらうこと、それにつきま。



教育相談員 鈴木 敦子

教育相談室から

皆やみんな知ってごまか

研修会報告

開催日	研修名	会場	講師	テーマ	参加者数	
6/1(水)	茅ヶ崎オープン講座	平和学園幼稚園	関根 紀子先生	「心をはぐくむ絵本の力」	63人	
6/23(木)	第2回 統合保育基礎講座	かながわ ようちえん会館	社会福祉研究所副所長・教育福祉研究室室長 神奈川県立保健福祉大学 非常勤講師	「こどもの心の育ち・子どもをめぐる環境」	110人	
7/15(金)	第2回 特別支援教育研究会		上原 文先生	7月の様子と配慮したこと	28人	
8/1(月)	新規採用教員研修会	鶴見大学 (5号館)	大妻女子大学教授 岡 健先生	「指導計画作成について—幼児にとっての環境—」	152人	
8/2(火)			文京学院大学教授 平山 許江先生	「保育者の役割—新人に求められるもの—」	152人	
			日本体育大学准教授 三宅 良輔先生	「幼稚園にもっと体操を」	150人	
			関東学院大学准教授 照沼 晃子先生	実技演習 造形:「身近な素材を遊びや保育に生かすアイデア」 絵本:「保育に生きる読み聞かせ」	150人	
			東京都市大学教授 内藤 知美先生			
			鶴見大学短期大学部准教授 佐藤 英文先生	自然:「身近な草花を使った簡単な遊びを通して自然と触れ合うことはどういうことか、環境教育とは何かなどを一緒に考えてみましょう」		
			日本児童遊戯研究所所長 有木 昭久先生	体を動かす遊び:「伝承遊びとその展開」		
8/1(月)	10年経験者研修会 教員免許状更新講習	鶴見大学 記念館ホール	鎌倉女子大学教授 小泉 裕子先生	「新教育要領を日々の保育にどう生かすか」		29(10年) 179(免許)
8/2(火)			大妻女子大学教授 岡 健先生	保育記録の生かし方:同僚性に基づく園内研修の在り方		
			横浜国立大学講師 渡邊 眞一先生	「幼稚園、家庭、地域の連携協力について」	29(10年) 179(免許)	
			日本体育大学准教授 三宅 良輔先生	「幼児の身体発達と運動機能に基づく体操指導について」		

第27回 関東地区教員研修 神奈川大会



開催日:平成24年8月2日(木)・3日(金)
会場:パシフィコ横浜 他

平成23年度神奈川県連合会加盟園数・園児数

協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
横浜	261	54,064	54,137	- 73
川崎	83	22,431	22,465	- 34
横須賀	30	5,367	5,346	21
藤沢	33	6,640	6,585	55
鎌倉	22	3,204	3,199	5
茅ヶ崎	18	3,749	3,647	102
湘央	40	6,879	6,768	111
小田原	12	1,371	1,358	13
相和	28	5,490	5,355	135
相模原	37	8,303	8,052	251
逗葉	7	901	872	29
厚木	20	3,024	3,001	23
計	591	121,423	120,785	638

県連設立 1948年(昭和23年)

発行
社団法人神奈川県私立幼稚園連合会
〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25
横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL. 045-440-3210 FAX. 045-440-3209

印刷 (有)石黒印刷
〒232-0056 横浜市南区通町3-50-1
シティコープ弘明寺101号
TEL. 045-713-0080 FAX. 045-713-0036

県父母の会連合会委員総会開催報告 浅谷 学(川崎・中野島幼稚園)



神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の委員総会が6月14日、かながわようちえん会館大会議室で開催されました。総会は、巽加代子平成22年度父母連副会長の挨拶で開会。渡邊眞一会長、久保綾子22年度父母連会長の挨拶、22年度父母連役員紹介の後、山田誠一振興

部長が議長に選任されました。議事では、22年度の事業報告と収支決算報告・監査報告が承認され、続いて、来る11月9日に乙武洋匡氏をパシフィコ横浜に迎えて行われる、父母連研修大会の実施等を盛り込んだ23年度の事業計画案と収支予算案が承認されました。次に、23年度父母連役員選出が行われ、佐野早紀会長をはじめとする新たな顔ぶれが決定し、佐野新会長が意気込みを述べました。最後に、岡田薫子副会長から22年度常任委員一人一人に感謝状と記念品が手渡され、鈴木伸司副会長の挨拶で閉会となりました。

ようこそ連合会へ 新規加盟園情報 (平成23年度 入会園)

湘央地区私立幼稚園協会
学校法人鶴巻学園 つるまき幼稚園
〒257-0002 秦野市鶴巻南4-22-26
TEL. 0463-77-2323 FAX. 0463-77-2522
(設置者・代表者)理事長・原 徹
(園長名)原 正子
(創立年月日)昭和45年11月28日
ホームページ: <http://www.tsurumakiyouchien.com/>



編集後記 節電と言われ、暑い夏を過ごしている中、私達の業界で悲しい事故が起こりました。プール指導中の死亡事故です。詳しい内容・いきさつは知りませんが、このような時は必ず園の管理体制が問われます。プールの事故に限らず保育中の事故、また毎年どこかで聞く園バスでの事故等、子どもの命を預かるこの仕事は、常に真剣に取り組まなければならない事をあらためて実感しました。3月の大震災以来、暗くなりがちな日本でしたが、それを明るく吹き飛ばしてくれた人達が活躍しました。なでしこジャパンです。彼女達の活躍はテレビ等でご存じと思いますが、それを称える中に『今の日本は女性のパワーで引っ張って行かなきゃ』とのコメントがありました。この業界は、昔から女性のパワーに頼っています。なでしこジャパン佐々木則夫監督の女性達のパワーをうまく引き出す力、身に付けたいですね。しかし、男性保育者も負けちゃイケンよ！
広報室員 熊坂 昌志